

金明竹

このたびきんめいちく金明竹をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます！

古来人々は、緑のササ葉に神霊を感じ、ササの風韻に神のささやきを聞き、その香りに、心身の安らぎを受けたものであります。この竹は、蘇方竹（スホウチク）と呼ばれ、400年位前に中国から渡来したと言われていています。鳳凰竹（ホウオウチク）の仲間で、バンブー系的一种です。葉は柔らかくケイ酸分が少ないので、動物たちの飼料としては最高の物で、パンダも食べるそうです。中国の伝説の鳥、鳳凰（新一万円札の裏面参照）は青桐に住み竹の実を食べて永遠の命を授かり、一羽ばたき1000里を飛ぶと言われていています。その実を付ける竹が、金明竹と言われていています。

この竹は、弊園の先祖の一人、福家七郎右衛門が江戸時代の初め（1610年頃）金毘羅さんの裏山に、黄金色に輝く「金運を招く竹」があるのを知り、その一株を譲り受け金明竹として弊園に長く伝えられた物です。本来の金明竹は、石川県に天然記念物として保護されている真竹の一栽培品種ですが、弊園では先の言い伝えから、通称「金明竹」として販売をしています。

お取り扱い方

この金明竹は、水揚げが大変よく、その瑞々しさからお正月の飾り物として重宝されております。さらに、湯揚げ（葉や小枝を新聞紙などで包み切り口を熱湯に10分位浸す）をすると、より長持ちをします。また、暖房器具などの風は乾燥しやすいので直接当てないようにして下さい。葉をキリ吹き等で湿らせておけば長くお楽しみ頂けると思います。

この金明竹のすばらしさを、より一層楽しんで頂ければ幸いです。



まるふくせいかえん
 清花園®

〒769-0101

香川県高松市国分寺町新居 277-25

(有)丸福清花園

TEL(087)874-0566 FAX(087)874-7101